

40年前は地下に寝た 大蔵OBの民主・藤井議員

旧大蔵省出身で民主党税制調査会長の藤井裕久衆院議員（75）が6日、古巣の財務省など官僚のタクシー接待問題に怒りをぶちまけた。

藤井氏は代議士会で大蔵省時代を振り返り、「午前2時、3時に帰ることが多かったが、タクシーなんかなかった。家内が運転して迎えにきた。奥さんを引っ張り出せない人は大蔵省の地下に『霊安室』（仮眠室の通称）があって、そこでみんな寝泊りをしていた。それが40年前だ。先輩は怒りを持っている」と後輩をしかつた。